

おした

2013年(一社)津山青年会議所スローガン

我々が‘つやま’に活力を与える

今こそ **和**っしょい!

～心一つに、力強く盛り上げていこう～



- 中国地区コンファレンス2013に向けて
- 美作国建国1300年記念事業
- ブロック新会員研修会
- 2020年の森
- 会頭公式訪問



中国地区コンファレンス2013に向けて



中国地区コンファレンス2013
実行委員会 実行委員長
河原 淳

否応なしに切迫感からられる今日この頃ですが、それもそのはずで本番当日まであと50日もありません。来賓へのご案内と、各地青年会議所へのご案内のレスポンス、地域活性化からいちの出展者との動向について、数え上げればキリがありませんが自分たちでできる、動けるタイミングはほぼそういった先方の動き次第となってきたところまで差し掛かってきました。本当にもう少しで本番という空気を感じさせられる日々が続いています。

今年の地区協議会の基本理念であり、今大会のテーマとさせていただいている『全てとの「つながり」未来の希望につながる勇壮なる中つ国の創造』、とにかくつながりを持てる機会を設け、一般の方JCメンバーの方関係なくそれぞれの今後のまちづくり・ひとづくりの醸成や新たな局面に向けての展開、活動へと広がる材料を一堂に集め、まさしく未来に希望を抱いて決断ができる大会にしようとの目的を掲げ、そのためには…と、式典やフォーラム、各種PRブース等随所にその目的の実現のための仕掛けづくりを、人的、物的、さらに大掛かりであったりそうでもないものまで含め、大会全体の図式が完成し、徐々にではありますが、全員のモノになりつつあります。

何度も重複して恐縮ですが、本当にここからは過去に経験した大会や規模の大きな事業を参考に、さらに現在の時制や流行といったところも意識しつつ、当事者間でのやり取りや、更にお願いや依頼もしていかなければならない最終段階に入っているところです。現役メンバーへの無茶振りや無理難題の押し付けに加えて、先輩諸氏にもお願いや過去の遺物を穿り返して、色々とお伺いさせていただきます。と、言うより数名の先輩には現在進行形でそういったことをさせていただいておりますので、突然の電話や訪問に関してはお時間の許さざり、暖かく迎え入れてやっていただきたいと思っております。

とにかく本番当日まで、実行委員会をはじめLOMメンバー一丸となって、弾のようになって突き進んでいく所存でございます。よろしくお願ひします。



中国地区コンファレンス2013
実行委員会 副実行委員長
須江 健治

この大会に中国地区内から一人でも多くのメンバーに来津していただけるよう中国地区各地にPRに行きました。片道2時間以内で行ける所もあれば、宇部のように片道6時間以上かかることもありました。全14か所でPRを行い、津山の勢いを各地に届けてまいりました。多くのメンバーの積極的な参加があり、その道中でメンバー同士がいろんな話し、一層強固な結束を強めること

になったと思いますし、中国地方各地の様々な風土や“たから”を体感し、東の端にあるつやまをあらためて見つめ直すことが出来たのではないかと思います。

また、中国地区の役員会議に参加した際、2004年の全国城下町シンポジウム津山大会での印象を話される場面が多くありました。先輩方が多くの議論を重ね、汗と共に培って来られた歴史が現在も津山青年会議所へ対する信頼、そして期待となっている事のありがたさを感じました。この看板に傷をつけることのないよう59名のメンバーが心一つにこの大会を成功させ、一人ひとりが自信と誇りと持ち、さらに勢いのある津山青年会議所へと続いていく大会にして行くことが重要と考えます。河原実行委員長をしっかり支え、光岡理事長を盛り上げ、中国地区協議会を和っしょい！と盛り上げていけるよう頑張っています。



中国地区コンファレンス2013
実行委員会 副実行委員長
山本 幸治

河原淳実行委員長を中心として、17年ぶりに津山の地で開催される中国地区コンファレンスを成功させるべく日々メンバー一丸となって取り組んでまいりました。

中国地区の各地でLOMメンバーとともにPRを行い、中国地方各地を飛び回り、また、中国地区の役員会議に参加した際は、津山青年会議所への大きな期待を感じました。

中国地区コンファレンスは、本当に大きな事業です。59名のメンバーが心一つにしてこの大会を、一人ひとりが考えることが重要です。

このような大きな事業を実施できることに感謝し、そして、必ず成功させることでこれからの津山青年会議所の活動・運動をさらに生き活きとしたものにしていきたいと考えております。

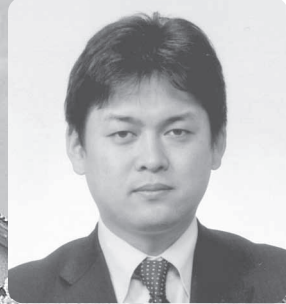
美作国建国1300年プロジェクト



美作国建国1300年プロジェクト
キャプテン

龍門 慶輝

4月13日(土)・4月14日(日)には美作国建国1300年記念事業「津山城天守復元～今こそ和っしょい!津山城～」津山さくらまつりでのPRが行われました。土日にもかかわらず、多くのメンバーにご参加いただき大変ありがとうございました。当日は津山城内でのPR活動を行うにつれ、徐々に瓦作りの体験者が増えていき、ボランティア参加希望をだされる方もありました。最終的に120本以上の瓦を作成することができ、メンバーの皆さまのおかげで市民の皆様へ「津山城天守復元～今こそ和っしょい!津山城～」の素晴らしさを伝えるとても良い事業のスタートとなりました。現在、ボランティアの参加申し込みも約80名近くいただきました。8月の展示期間に向けて、全力で取り組んでいきたいと気持ちを引き締めています。



まちづくり委員会
委員長

福田 邦夫

美作国建国1300年記念事業のスタートとして、さくらまつりでのPRとボランティア説明会を実施いたしました。多くの地域の人々に関わる事業となっておりますので、これからも引き続きLOMメンバーの方にはお力添えをいただくことが多くなると思います。光岡理事長のかかげるスローガン「我々がつやまに活力を与える「今こそ和っしょい!」～心一つに力強く盛り上げていこう～という言葉に胸に全力で頑張っていきたいと思います。



ブロック新会員研修会



指導力開発委員会
委員長
高橋 拓己

2012年12月11日の新会員予定者と理事・役員顔合せ会から新会員研修会（導入編）を新会員予定者10名と行いました。新会員同士、共に励まし合い、助け合いながら同じ時間を共有する事で絆を築いていき、1月17日の新年懇親会新会員タイム終了後には達成感に満ちた顔を見ることができました。そして、2月24日の新会員研修会（研修編）では、過去の事業の調査・研究を通して、（一社）津山青年会議所運動・活動の意義・目的を理解しました。また、講師講演では第53代理事長の福田先輩をお呼びしてご講演をいただきました。この研修を通して新会員がやりがいと魅力を感じ、一歩踏み出す勇気を持つ人材となること確信しました。

2020年の森



2020年の森プロジェクト
キャプテン
寺本 健志

2020年の森は1977年から現在まで、先輩方の想いと共に35年間受け継がれた（一社）津山青年会議所にとって大切な財産です。しかし現在、国産材を取り巻く環境も変わり、設立当初に計画していた事業展開をする事が困難であるという問題を抱えています。このような状況を踏まえ、今一度現状に即した調査・研究を行いました。本年度は作業道の拡幅・修繕を行い、管理小屋までの拡幅を今後引き継いでもらいたいと思います。3月24日の管理・育成作業にはご多忙の中、特別会員の皆様を始め多くのメンバーにご参加いただき、事業を行う事が出来ました。これもひとえに皆様のお力があっての事であると思います。誠にありがとうございました。また新しい事業も挑戦して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

会頭公式訪問の感想

心の教育推進委員会
西村 憲明

公演中、小畑会頭が終止言われていた「ひとびとの意識を変えるには自分自身が魅力的な人間にならなければならぬ。」というフレーズが心に残りました。例えば身近で困ってる人に「大丈夫？」と声をかける様な時でも、そこに「心配してあげた」といった自分本位の感情があれば、その言葉は相手に届かない。本当に相手のことを想って口にした言葉であれば、例えそれがどんな言葉であっても相手の心に届き、相手の心に変化を与えられるのではないかと。会頭の言われていた「魅力的な人間」とは自分本位ではなく本当に相手の事を想って行動できる人間ではないかと思いました。

広報渉外委員会
早瀬 久善


小畑会頭の優しそうで温和な口調の中にも、時折厳しさと熱い想いのこもった講演に、引き込まれていくのに時間はかかりませんでした。印象深く記憶に残っているのは、東日本大震災で被災された方々の中で「今日が最後だと分かっていたら・・・」という言葉が聞かれたそうです。確かにそれが分かっていたら、それまでの行動は必ず違っていたはず。同じ人と同じ時を過ごす場面は二度と訪れない。だからこそ「これが最後だと分かっていたら」の精神で日々を、そして一瞬一瞬を大切にしていかなければならないと改めて感じる事ができました。

広報渉外委員会
松本 宏光

講演の中で、青年会議所はまちづくり、ひとづくりの運動を行う団体で、それは人々の意識を変える団体であるとお話がありました。そのためにまずは青年会議所会員である私たち自身が意識を変えなければいけないとのことでした。意識を変えるためには、青年会議所の運動に参加することが近道であり、その積み重ねが、自分自身を成長させていくものだと思います。今回の講演を機に、今後につなげていきたいと思っております。

まちづくり委員会
真木 祐治

会頭の講演を聴いてみて非常に熱い方だなと思いました。青年会議所の一員としてあるべき姿や地域での評判、会員増強の必要性など大変考えさせられる内容でした。また、会頭になるような方でもLOMのLD委員長時代に失敗をしていたことにも驚きました。決して会頭になるような方や理事長になるような方が特別なわけではなく、今の気持ちの持ち方やJC運動への取り組み方によって、今後大きな差が出るんだなと思いました。



ホームページ更新しました!
最新の(一社)津山青年会議所の運動・活動を『伝わる』発信で更新いたします。
津山JC

● 津山JCニュース「あした」 平成25年5月19日 ●

発行責任者/(一社)津山青年会議所 広報渉外委員会 委員長 脇 優太
津山市山下30-9 電話(0868)22-6713 E-mail info@tsuyamajc.or.jp